

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		6-	8
事業名	ごみ減量・再資源化事業費	会計	款	項	目
		一般	4	2	1
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	みらい環境課		
施策	9-4 低炭素・循環型社会の形成	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	一般家庭から排出される資源ごみを分別処理し再生利用可能な資源ごみを分別回収することで、ごみの減量化・資源循環を図る。
事業内容	一般家庭から排出される再生利用可能な資源ごみを分別回収することで、ごみの減量化・資源循環を図る。 家庭から排出される資源ごみ〔缶・びん・新聞・雑誌・段ボール・雑紙・飲料用紙パック・ペットボトル・布・廃食油・小型家電〕を委託業者により分別収集し、各品目ごとに再生利用先へ搬入し処理を行っている。町内の各団体が収集した資源ごみ（紙・布）について、1kgあたり6円の補助金を交付している。 ごみの減量・分別・リサイクルへの啓発を目指し、生ごみ処理機やコンポストの購入者に対し購入補助金を交付している。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1	資源ごみ回収量	1,206,699	1,143,414	1,131,503	kg/年	↓	1,161,000	
2	環境に配慮した生活をしている住民の割合	-	-	-	%	↑	81		
3	3R運動をしていると答える割合	-	-	-	%	↑	68		
4									
5									
			令和4年度（決算）		令和5年度（決算）		令和6年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B			27,445		27,756		29,687		
財源 内訳	直接事業費A		23,419		23,730		26,207		
	うち一般財源		18,341		18,295		22,219		
人件費（千円）B			4,026		4,026		3,480		
内訳	一般職員（人・千円）		0.61	4026	0.61	4026	0.5	3300	
	臨時職員（人・千円）			0	0	0	0.1	180	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	生ごみ堆肥化容器等購入補助金の存廃について検討する。	③取組の課題	ごみの資源化や軽量化は、まだ徹底できる余地がある。
②R5年度に実施した取り組み	一般廃棄物処理基本計画に内包する形で、食品ロス削減推進計画を策定した。 生ごみ堆肥化容器等購入補助金について存続することとした。	④今後の改善計画	製品プラスチックの再資源化について実証実験を行い、コストや成果を検証する。